

平成24年7月3日  
於：ブライトホール

## 世田谷区基本構想審議会 第2部会（第4回）

### 議 題

1. 第2部会の検討テーマについて  
環境・エネルギー、芸術文化・国際、スポーツ
  
2. その他

#### 《配付資料》

- 資料1 環境・エネルギー
- 資料2 芸術文化・国際
- 資料3 スポーツ
- 資料4 空き家・空き店舗の状況
- 資料5 委員提供資料

#### 《次回予定》

- 第2部会（第5回） 9月4日（火）18時30分  
世田谷産業プラザ 会議室

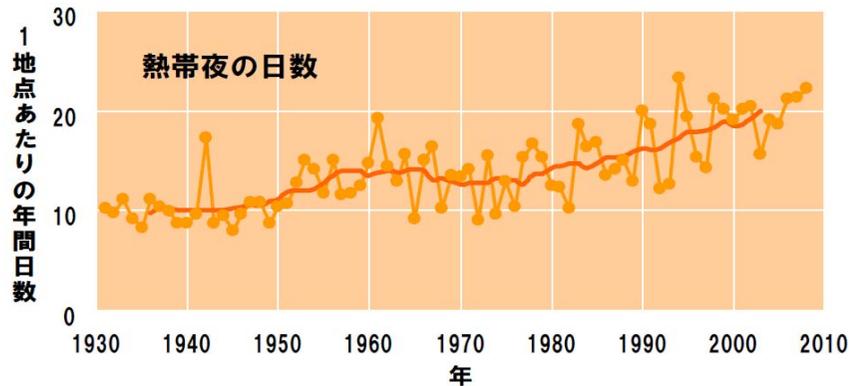
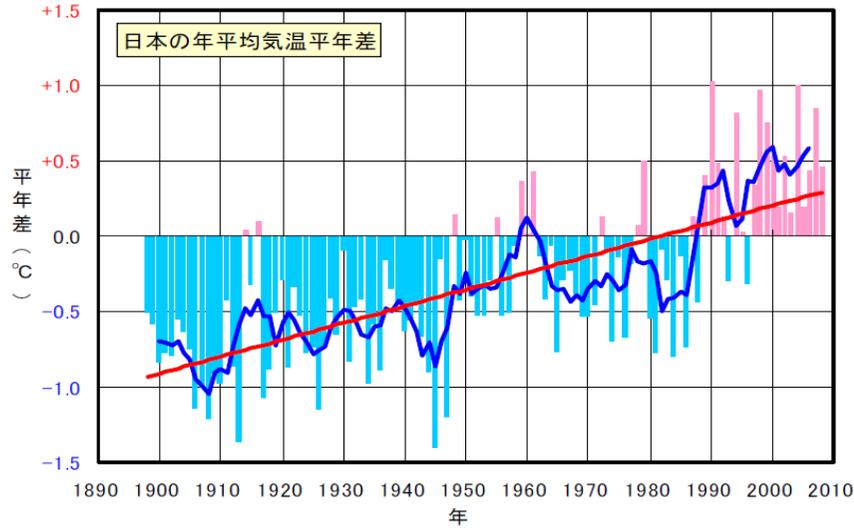
## 世田谷区基本構想審議会第2部会 環境・エネルギー 資料

### 環境分野の対象範囲(現世田谷区環境基本計画(調整計画))

1. 地球環境 低炭素社会への移行 など
2. 資源循環 ごみの発生抑制、資源の有効利用 など
3. 自然循環 緑と水、多様な生き物が生息する環境の保全など
4. 都市環境 良好な風景の保全・育成・創出、ヒートアイランド対策、安心して歩けるまちづくり など
5. 生活環境 環境負荷の少ない暮らし、まちの美化 など
6. 環境保全活動 環境学習・教育の推進、環境情報共有、環境保全活動 など

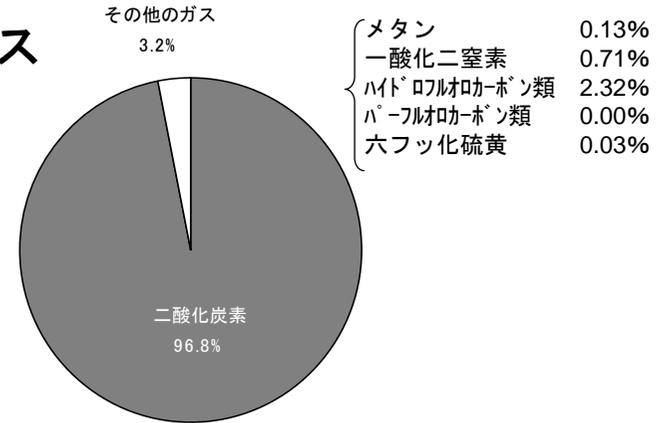
# 地球環境 温暖化対策 低炭素社会への移行①

## わが国の温暖化の状況

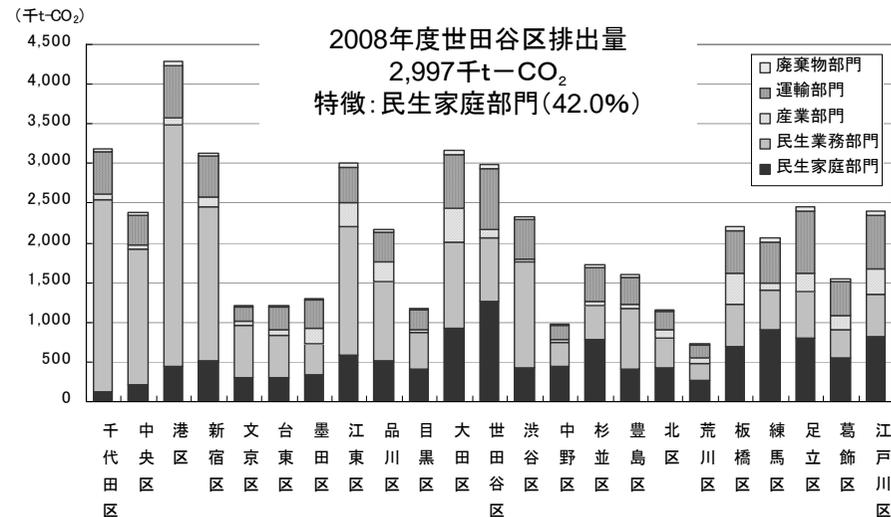


日本の年平均気温の経年変化(1898~2008年)と熱帯夜の日数(1931~2008年)  
 ※平年差=各年平均気温-平年気温(1971年~2000年の30年間平均気温)  
 出典:文部科学省、気象庁、環境省「日本の気候変動とその影響」

## 温室効果ガス



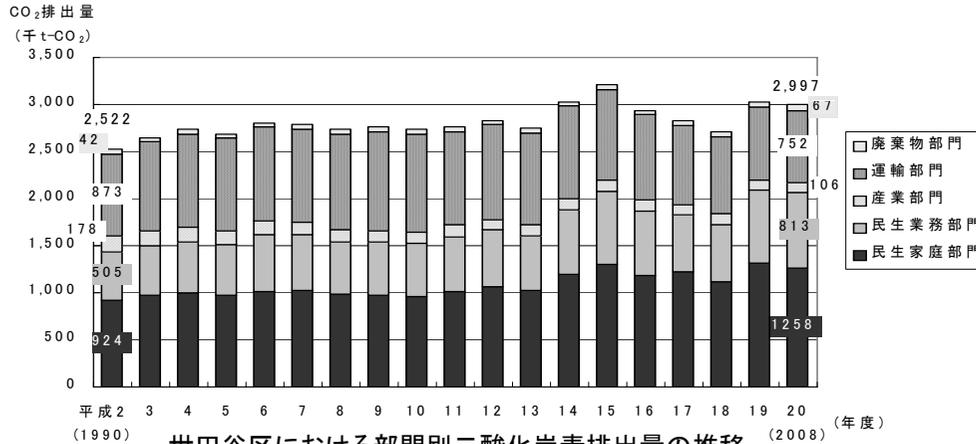
温室効果ガス排出量の構成比(平成20年度)  
 出典:「特別区の温室効果ガス排出量(1990年度~2008年度)」  
 (オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」)



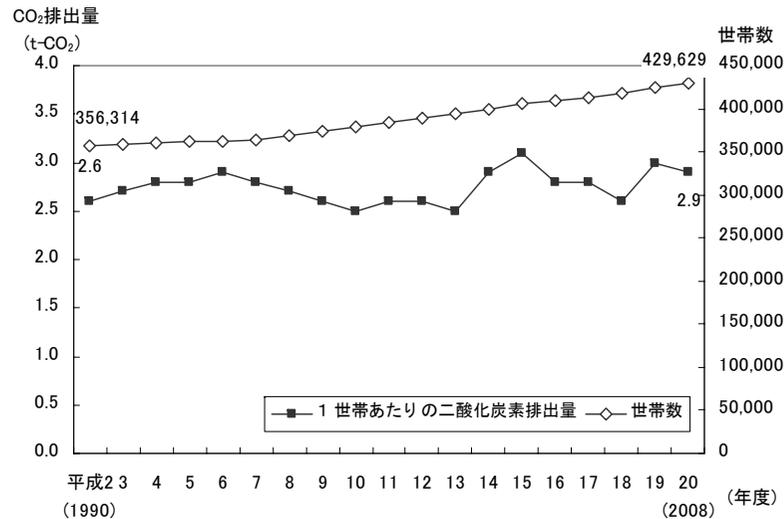
区別二酸化炭素排出量(平成20[2008]年度)  
 出典:「特別区の温室効果ガス排出量(1990年度~2008年度)」  
 (オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」)

# 地球環境 温暖化対策 低炭素社会への移行②

## 区における二酸化炭素排出量

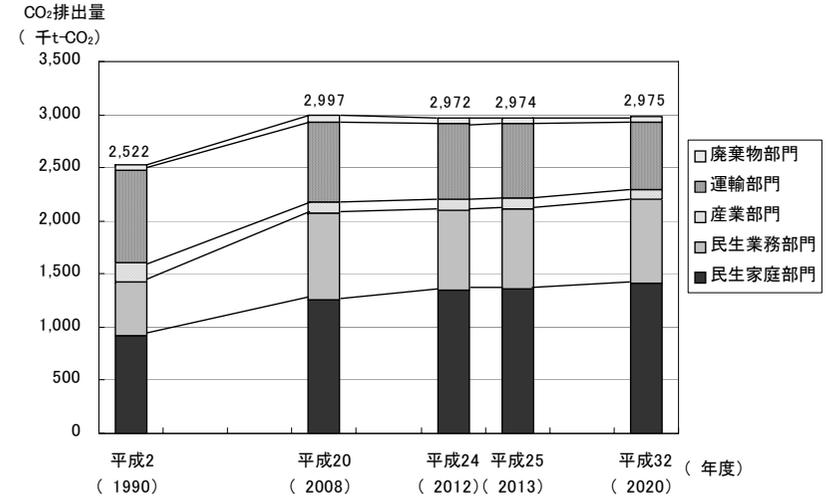


世田谷区における部門別二酸化炭素排出量の推移  
 出典:「特別区の温室効果ガス排出量(1990年度~2008年度)」  
 (オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」)



世田谷区における1世帯あたりの二酸化炭素排出量の推移  
 出典:「特別区の温室効果ガス排出量(1990年度~2008年度)」  
 (オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」)

## 将来の見通し(現状趨勢ケース) 対策を行わずに推移した場合



## 区における二酸化炭素削減目標

(現世田谷区地球温暖化対策地域推進計画)

### ◆第1ステージ

平成32(2020)年度までに、平成2年度比**10%削減**

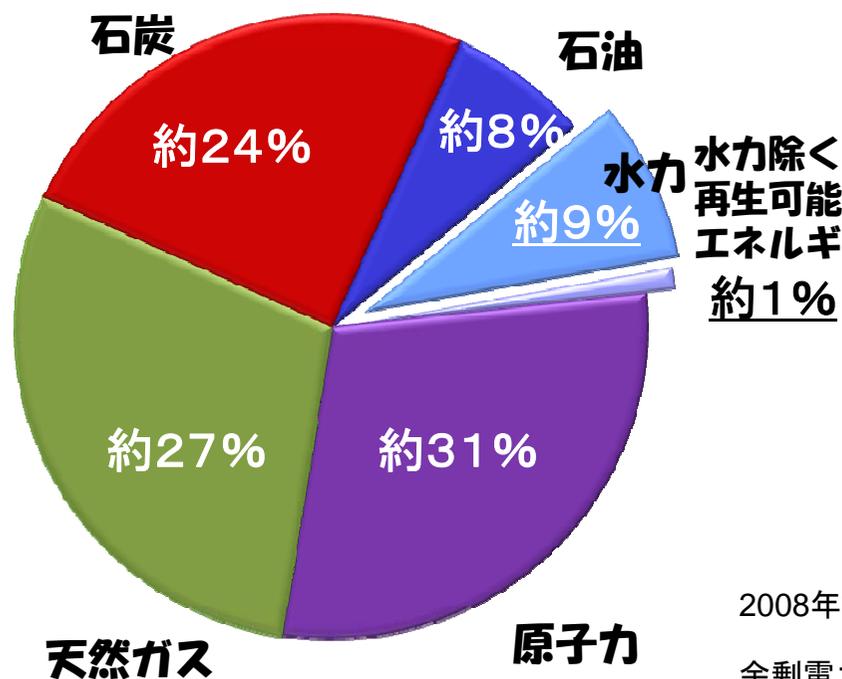
### ◆第2ステージ

平成62(2050)年度までに、平成2年度比**60~80%削減**

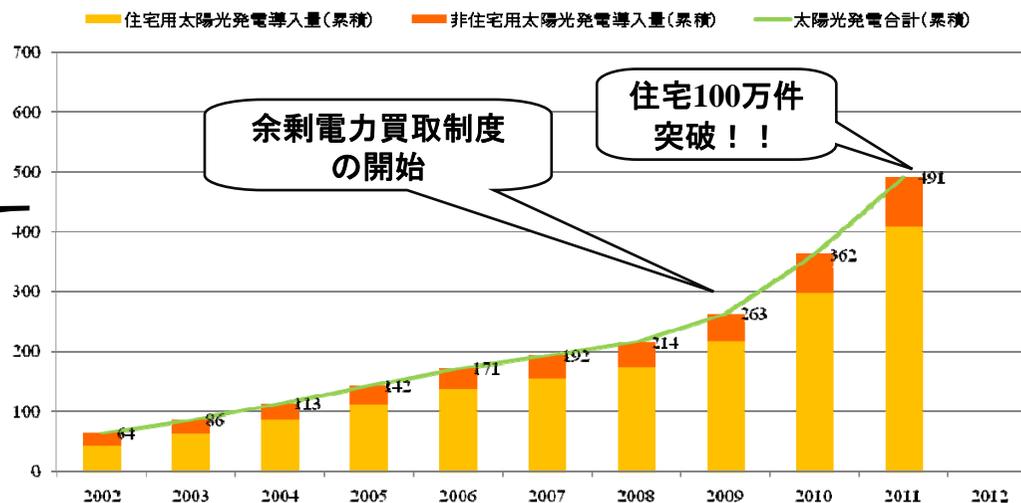
# 地球環境 温暖化対策 低炭素社会への移行③

国においては、地球温暖化対策としての低炭素社会への移行に向けて、省エネとともに、再生可能エネルギーの拡大が重要な取り組みとして位置づけられています。

わが国の年間発電電力量の構成(2010年度)



国内太陽光発電の導入量の推移

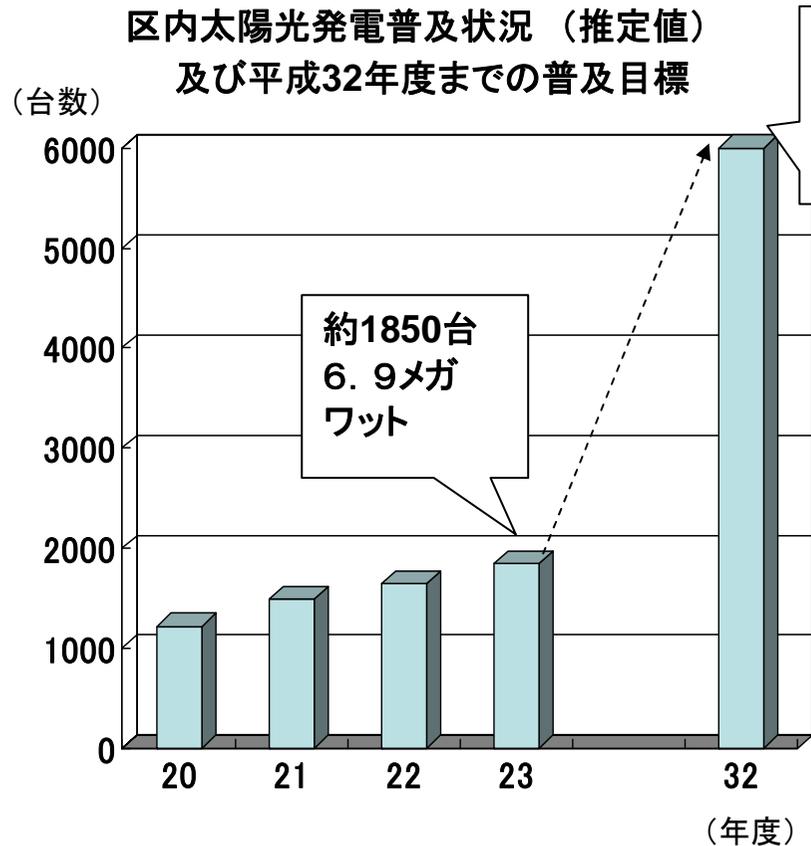


2008年で214万kW(約50万世帯)だった太陽光発電の導入量が、余剰電力買取制度の導入後の3年間で491万kW(100万世帯超)へと倍増しています。

(出所)資源エネルギー庁「平成22年度電源開発の概要」を基に作成

# 地球環境 温暖化対策 低炭素社会への移行④

区では、民生家庭部門の対策を重点的に実施し、東日本大震災後の節電をきっかけとした区民の省エネルギー行動をさらに推進するとともに、住宅における再生可能エネルギーの導入や高効率機器の普及を促進することで、二酸化炭素排出量の10%削減(平成2年度比)をめざしています。

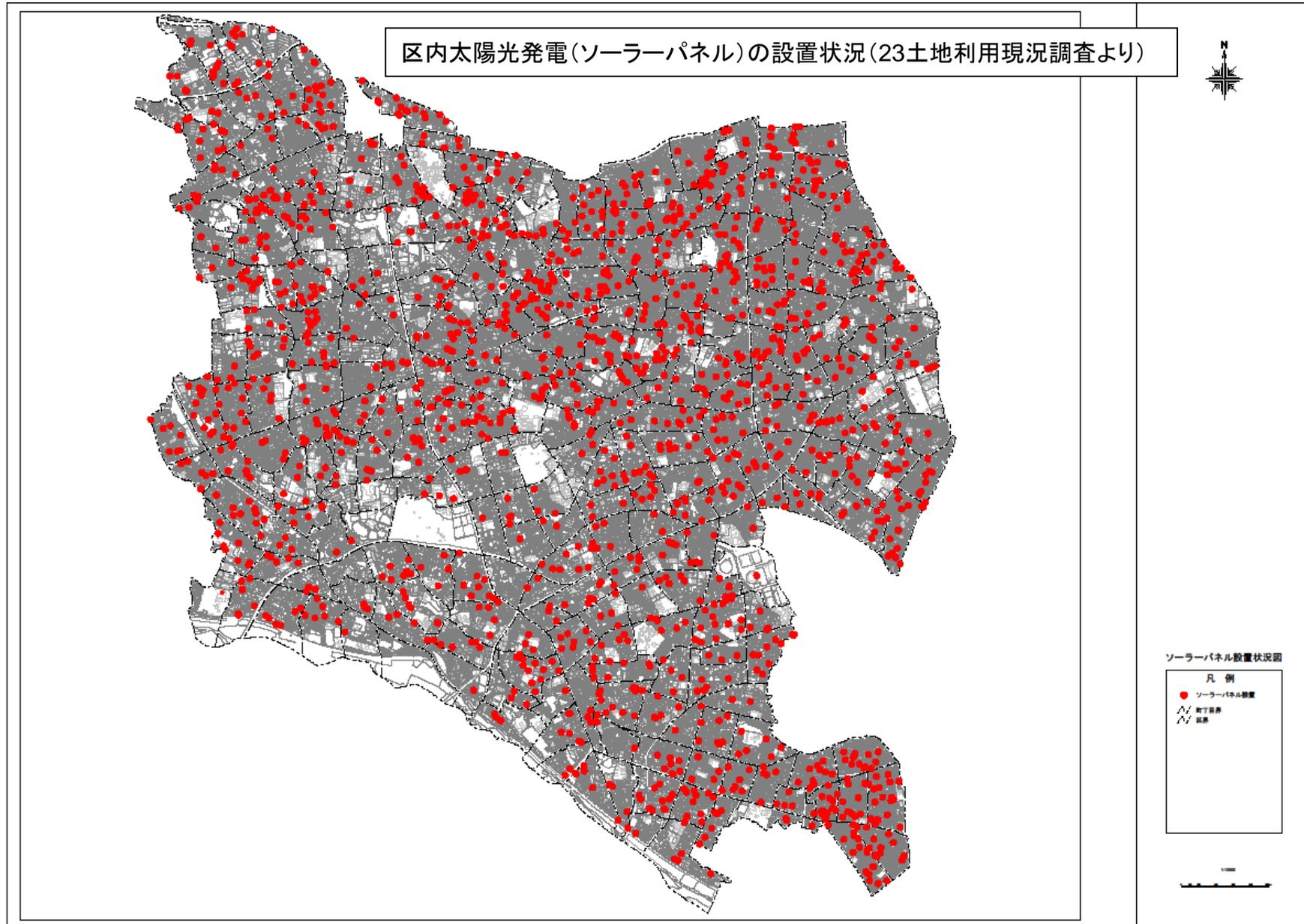


約6000台  
22.5メガワット  
(戸建住宅約12万のうち5%に導入)

◆第1ステージ(平成32(2020)年度までに、平成2年度比10%削減、742千t-CO<sub>2</sub>削減)の削減目標の内訳

主要な対策	想定普及率	CO <sub>2</sub> 削減量/年
家庭の省エネ行動(CO <sub>2</sub> ダイエット宣言メニューの実行による排出量削減)	全世帯の80%	142千t-CO <sub>2</sub>
トップランナー家電、LED照明	全世帯 LED照明:世帯あたり3個	168千t-CO <sub>2</sub>
太陽光発電、太陽熱温水器、高効率給湯器	各対策とも戸建住宅の5%	24千t-CO <sub>2</sub>
住宅の断熱化	全新築住宅、既存住宅の10%	6千t-CO <sub>2</sub>
東京都の対策による民生業務・産業部門・輸送部門の削減量		380千t-CO <sub>2</sub>
活動量の変化(現状趨勢ケース)による減少量		22千t-CO <sub>2</sub>

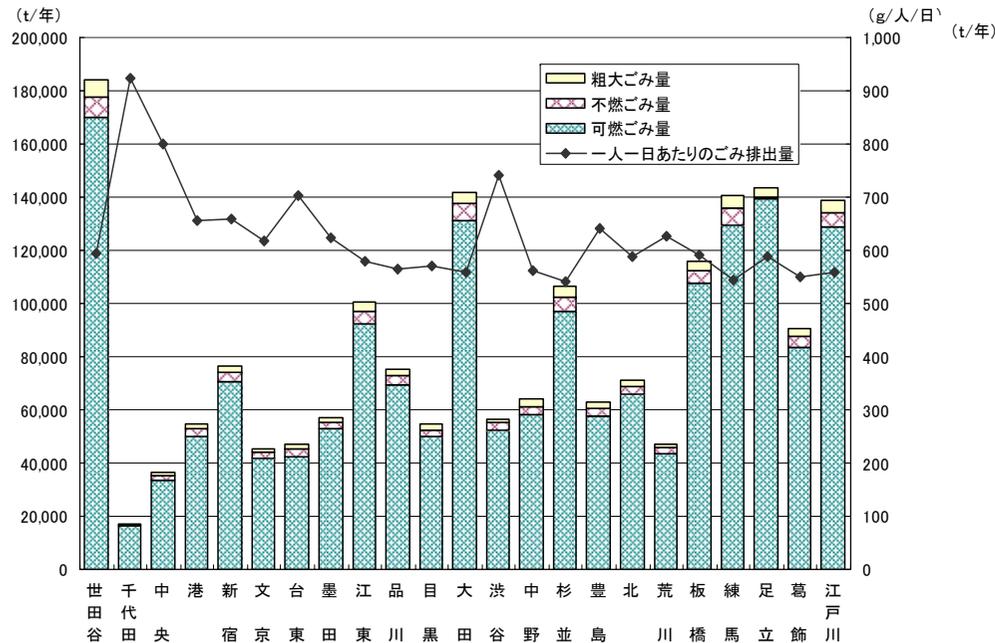
# 地球環境 温暖化対策 低炭素社会への移行⑤



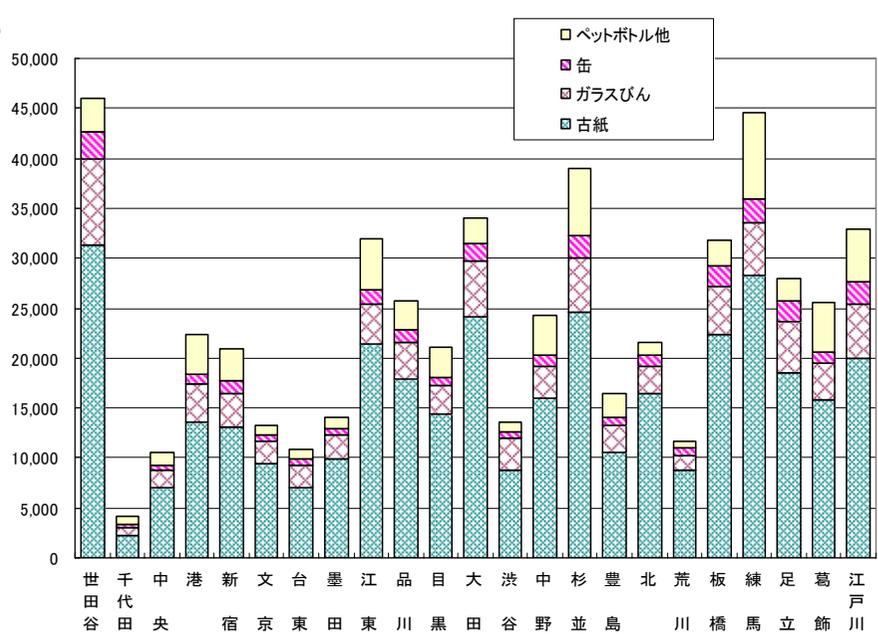
# 資源循環 ごみの発生抑制、資源の有効利用①

区では、循環型社会を形成するという目標のもとで、ごみの発生抑制と、資源の有効利用を推進しています。

## 23区ごみ収集量の比較(23年度)

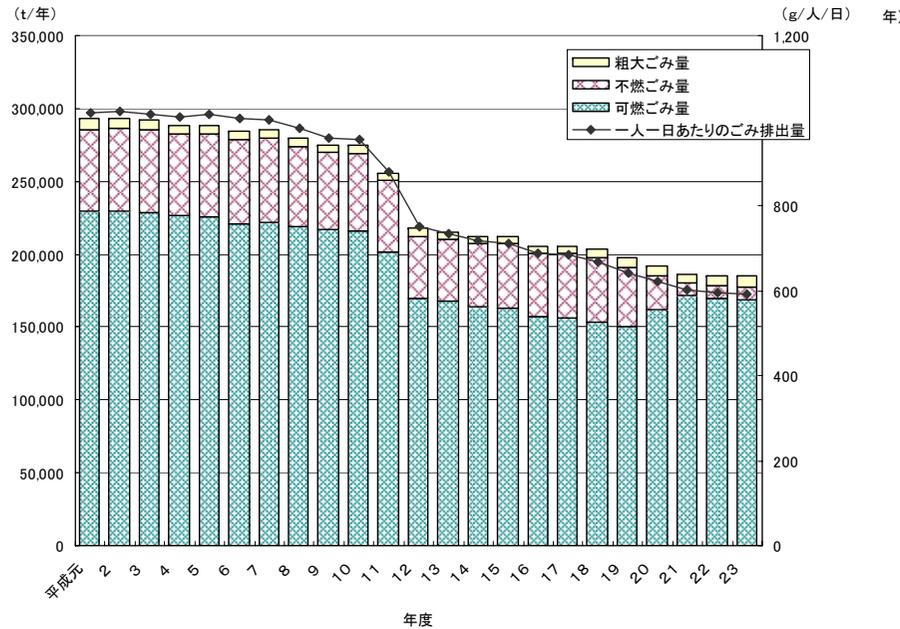


## 23区資源回収量の比較(22年度)

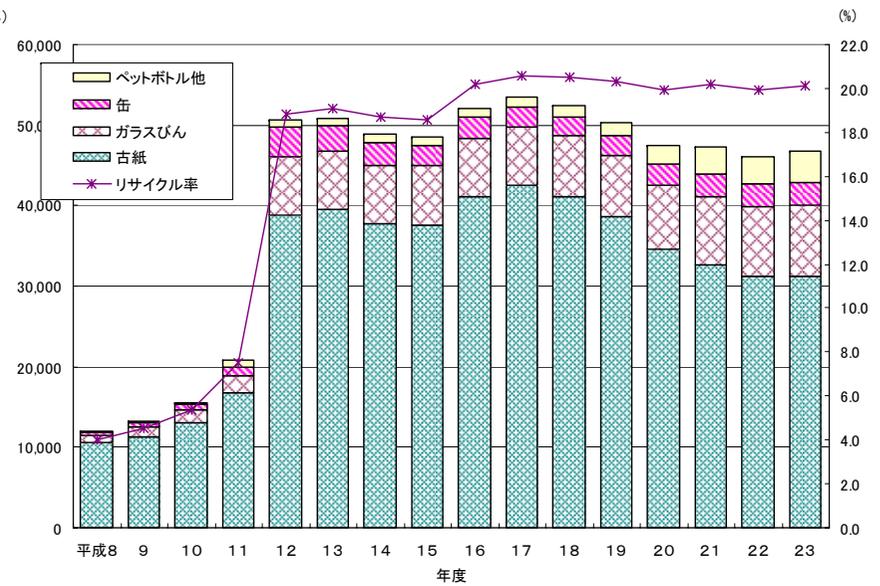


# 資源循環 ごみの発生抑制、資源の有効利用②

## 区内ごみ収集量の推移



## 区内資源回収量の推移

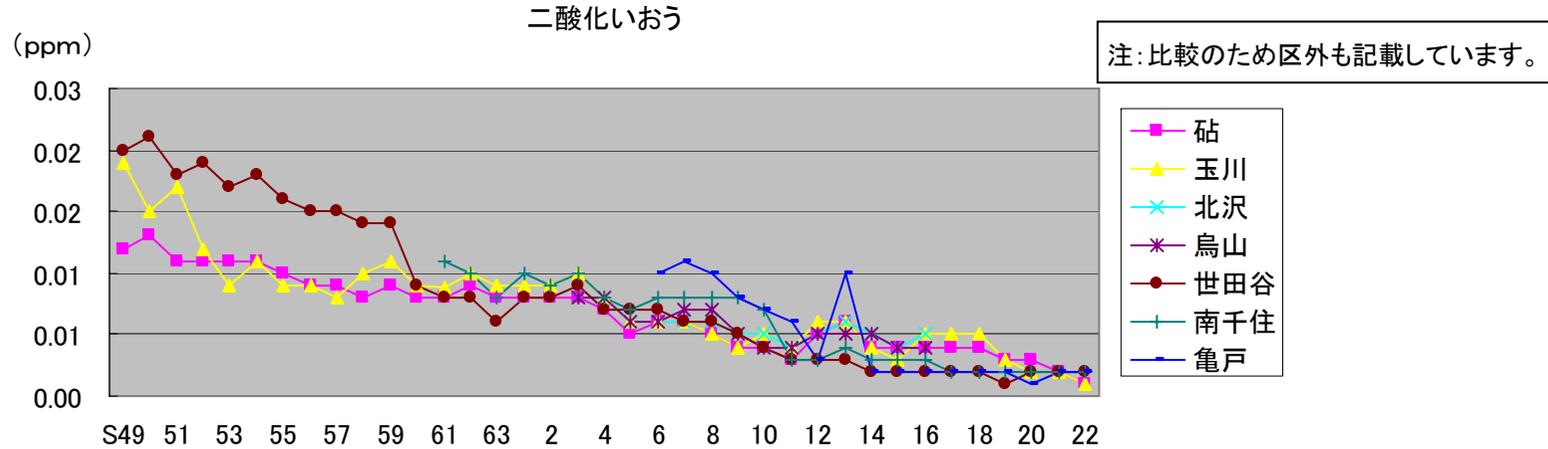


	ごみ収集量(単位:t)			計	一人一日あたりのごみ排出量(g)
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ		
平成23年度	169,739	8,633	7,318	185,690	593

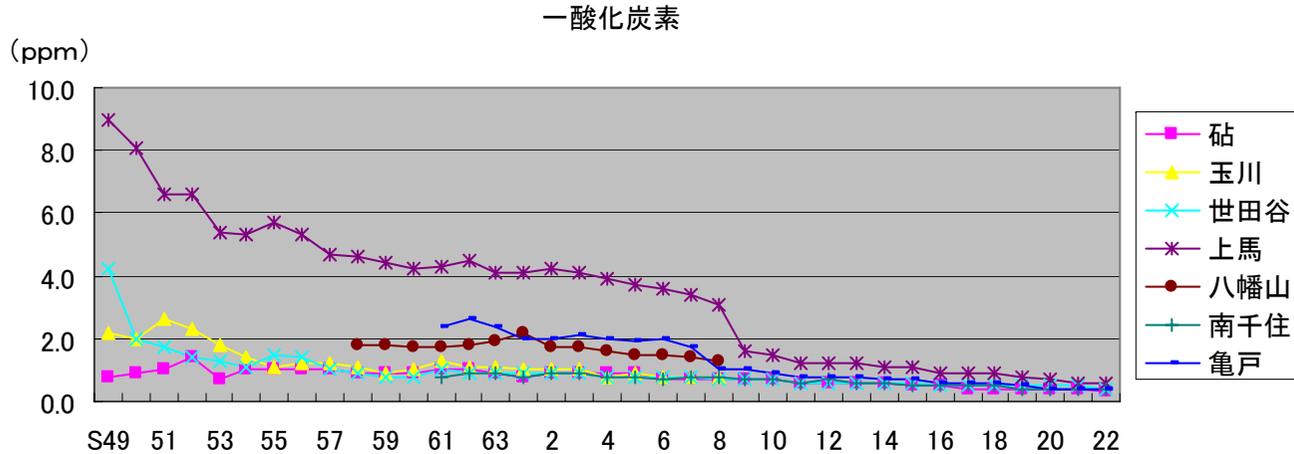
	資源回収量(単位:t)					リサイクル率(%)
	古紙	ガラスびん	缶	ペットボトル他	計	
平成23年度	31,234	8,813	2,748	3,931	46,726	20.1

# 生活環境 大気汚染物質の状況①

区では、大気汚染防止法第22条（常時監視）に基づく、環境省から都知事への通知に準じて、下記の5つの大気汚染物質を測定しています。大気汚染物質濃度を経年的にみると、浮遊粒子状物質と二酸化窒素は低下傾向にあります。光化学オキシダントは改善傾向が見られず、この数年は上昇傾向にあります。

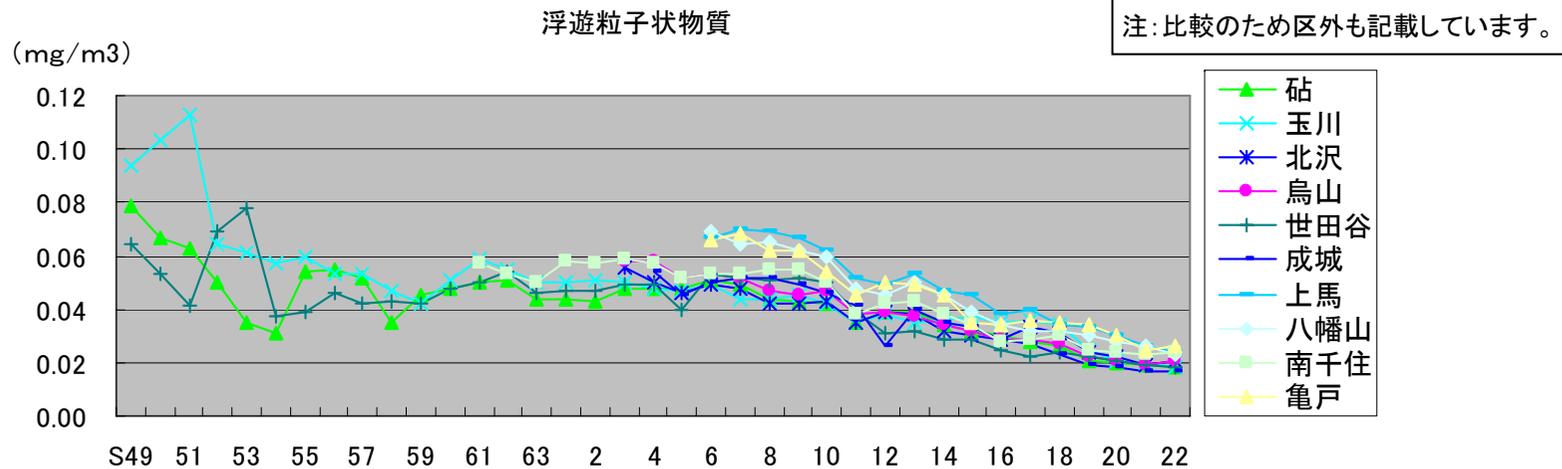


**二酸化いおう** 石油、石炭などの燃料中のいおう分が、燃焼により酸化して発生します。呼吸器の気道を刺激するため、汚染がひどい地域で生活していると、慢性気管支炎や喘息性気管支炎を起こすといわれています。また、酸性雨の原因物質の一つです。

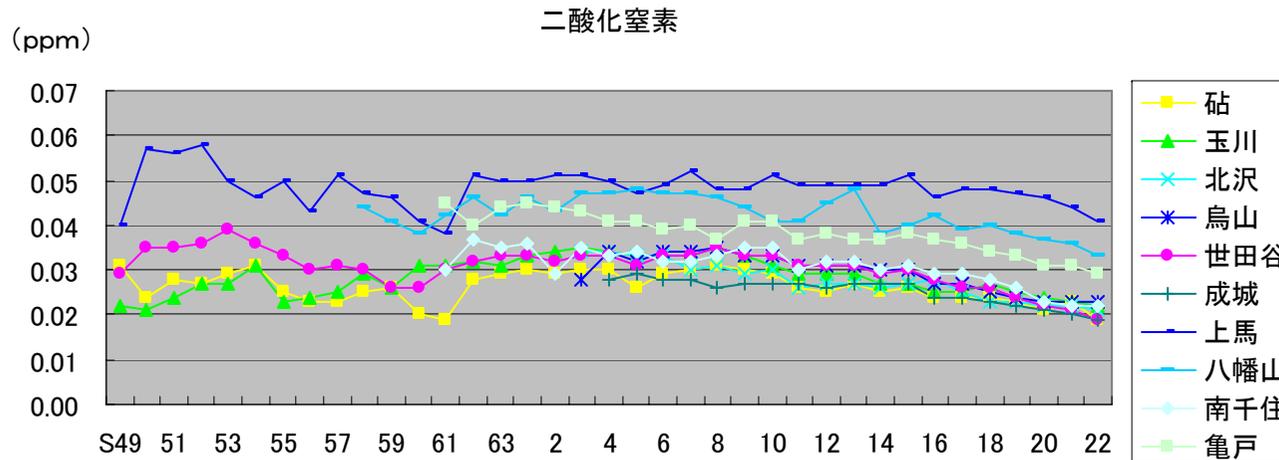


**一酸化炭素** 燃料などの不完全燃焼により発生します。血液中のヘモグロビンと結合して、血液が酸素を運搬する機能を阻害するので、汚染がひどくなると、めまい、全身倦怠などを生じます。

# 生活環境 大気汚染物質の状況②

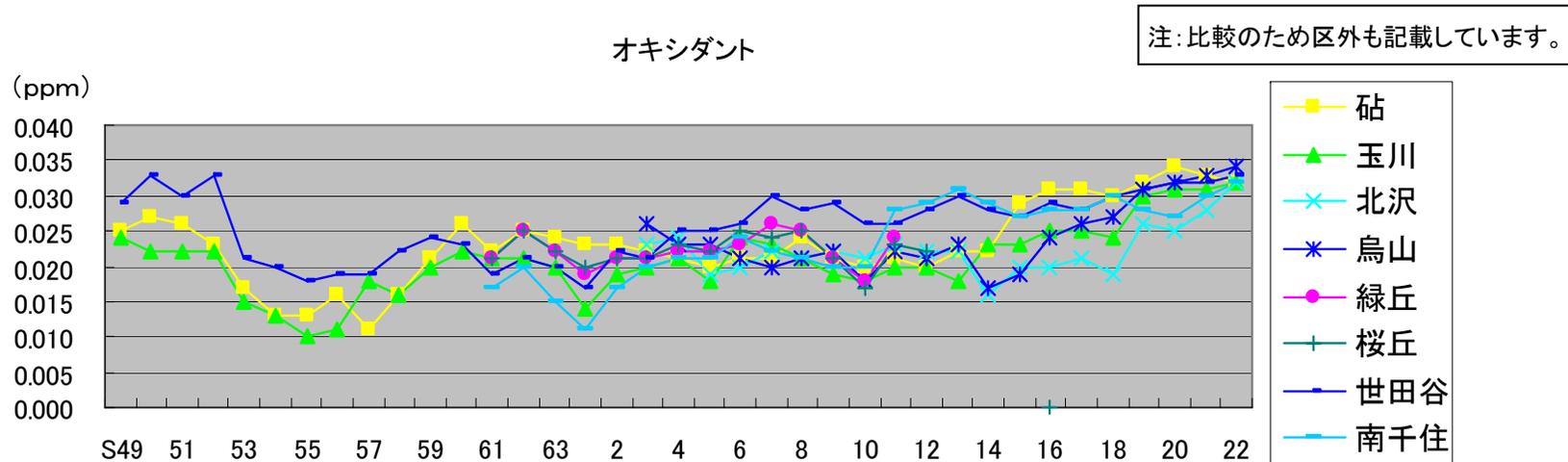


**浮遊粒子状物質** 大気中に浮遊している微粒子で粒径が $10\mu\text{m}$  ( $1\mu\text{m}=0.001\text{mm}$ )以下のものをいいます。ディーゼル自動車、工場、事業場などから排出されます。また、自然界からも発生します。汚染がひどい地域で生活していると、呼吸器に沈着して慢性呼吸器疾患を引き起こすほか、微粒子に含まれる様々な有害物質による影響が懸念されています。



**二酸化窒素** 燃料などの燃焼過程において、空気中の窒素と酸素が高温下で反応したり、燃料中の窒素分が酸化されて発生します。自動車、なかでもディーゼル自動車から多く排出されます。刺激性があり、汚染がひどい地域で生活していると、呼吸器障害を起こすといわれています。また、酸性雨の原因物質のひとつです。

# 生活環境 大気汚染物質の状況③



**光化学オキシダント** 空気中の窒素酸化物や炭化水素などが太陽からの紫外線を受けて、光化学反応を起こして生成されます。酸化性物質の総称でオゾンが大部分です。光化学スモッグの原因となり、濃度が高くなると眼、喉などの痛みを引き起こします。また、植物にも被害を与えます。オキシダント増加の原因としては、日射量などの気象条件の影響、東アジアなどからの原因物質の広域移入などが考えられますが、その原因は明確ではないと言われています。

(参考)測定調査地点一覧

測定室名	所在地	設置年度	用途地域	採取口位置	主要道路からの距離
				風向・風速計位置	
				測定室面積	
砧総合測定室	成城6丁目事務所棟5階 成城6-3-10	平成18年度	第1種住居地域	地上20.3m	環状八号線・世田谷通りの
				25.15m	交差点から西1700m
				23.74㎡	
玉川総合測定室	玉川総合支所屋上 等々力3-4-1	昭和47年度	近隣商業地域	地上19m	環状八号線・目黒通りの
				地上26.9m	交差点から北250m
				25.38㎡	
北沢総合測定室	北沢総合支所屋上 北沢2-8-18	平成3年度	商業地域	地上54m	環状7号線から東800m
				地上60.3m	大原交差点から南東1300m
				6.90㎡	
烏山総合測定室	烏山総合支所屋上 南烏山6-22-14	平成3年度	第1種住居地域	地上21m	甲州街道から南200m
				地上26.4m	
				8.36㎡	
世田谷局	世田谷区役所屋上 世田谷4-21-27		準住居地域	地上23.0m	環状七号線・世田谷通り交差点から西700m
				31m	
成城局	都立総合工科高等学校 成城9-25-1		第1種住居地域	地上4m	環状八号線・希望が丘通りの
				地上14m	交差点から西1600m
玉川通り上馬自動車 排出ガス測定局	世田谷区立上馬まちづくりセンター屋上 上馬4-1-3		商業地域	地上11m	国道246号線・環状7号線
				—	高速3号線
環八通り八幡山自動車 排出ガス測定局	都営八幡山アパート 粕谷2-19		第2種住居地域	地上5m	環状8号線
				地上8m	
京葉道路亀戸自動車 排出ガス測定局	都営亀戸7丁目住宅 江東区亀戸7-42-17	昭和46年	商業	地上4m	京葉道路
				地上5.5m	
荒川区南千住局	荒川区立第6瑞光小学校 荒川区南千住1-4-11	昭和44年	準工業	地上19m	明治通りから北東110m
					日光街道から西300m

## 区政モニターアンケート調査 概要

### 1. 調査目的

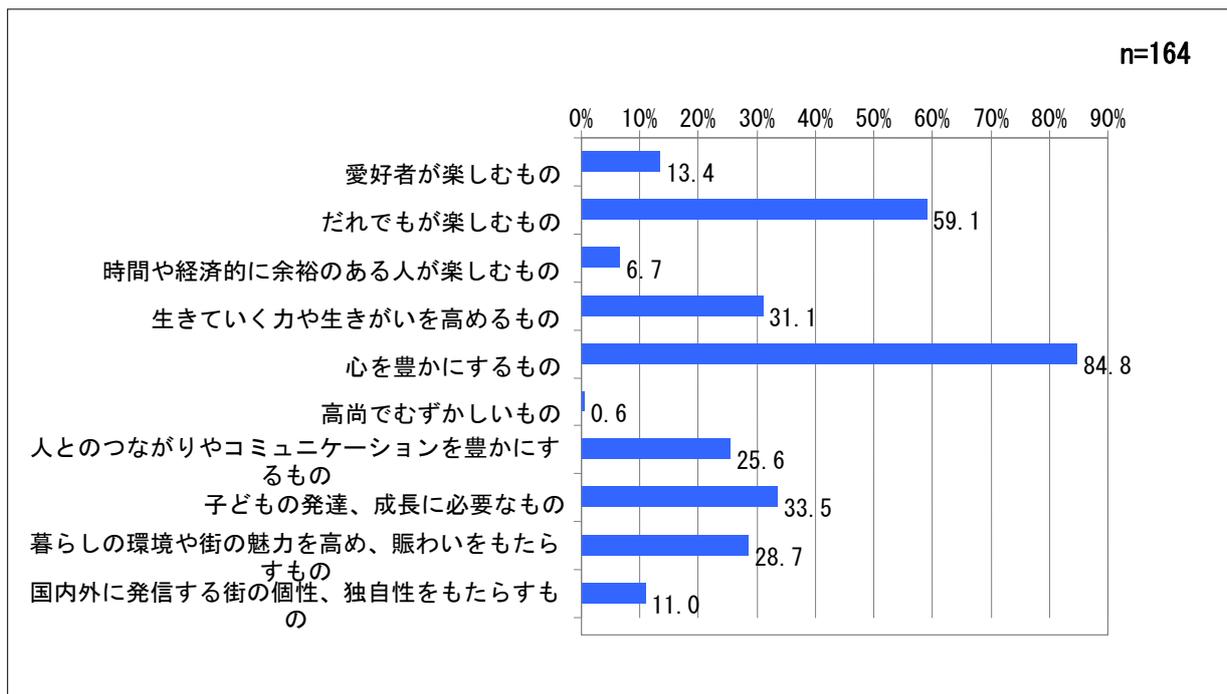
「(仮称)第2期世田谷区文化・芸術振興計画」(実施当時)の策定にむけて、区民のみなさんの文化・芸術に関する意識や区の文化・芸術施策へのご意見を聴取すべく、実施した。

### 2. 調査設計

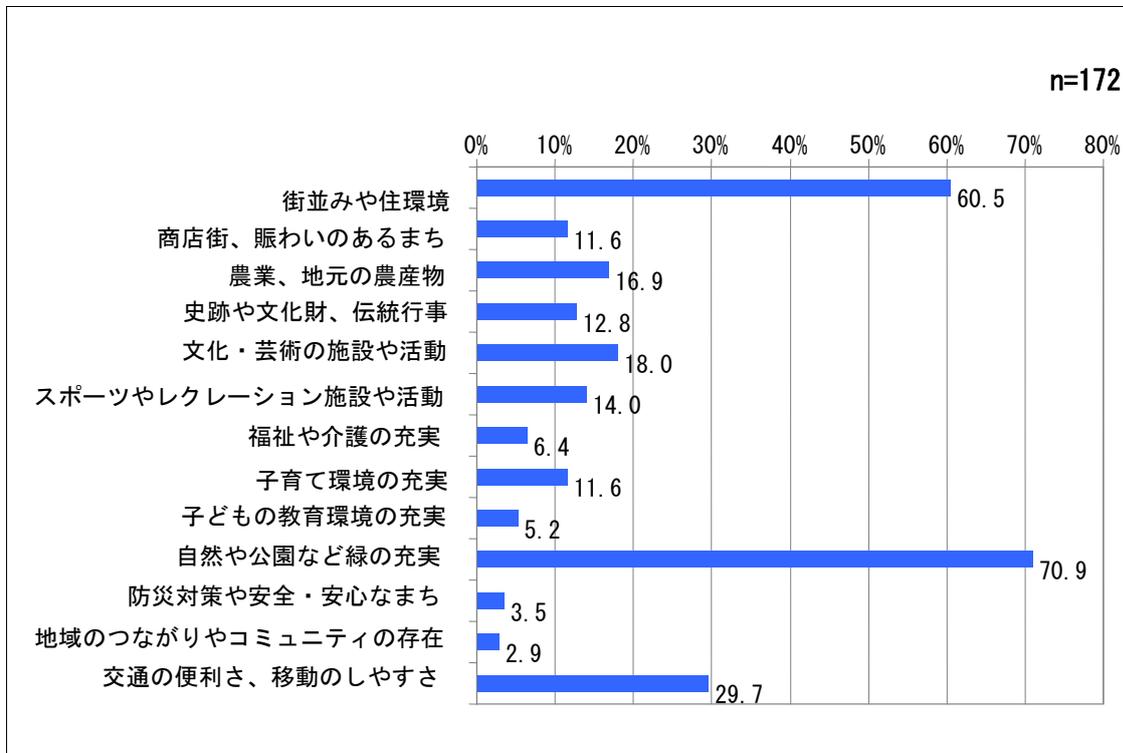
- |           |                         |
|-----------|-------------------------|
| (1) 調査対象  | 第13期区政モニター              |
| (2) 対象数   | 200人                    |
| (3) 調査方法  | 郵送配布 郵送回収法およびEメールによる送受信 |
| (4) 調査期間  | 平成23年4月25日から5月10日       |
| (5) 有効回答数 | 194 (97%) 男性48% 女性52%   |

### 3. 結果

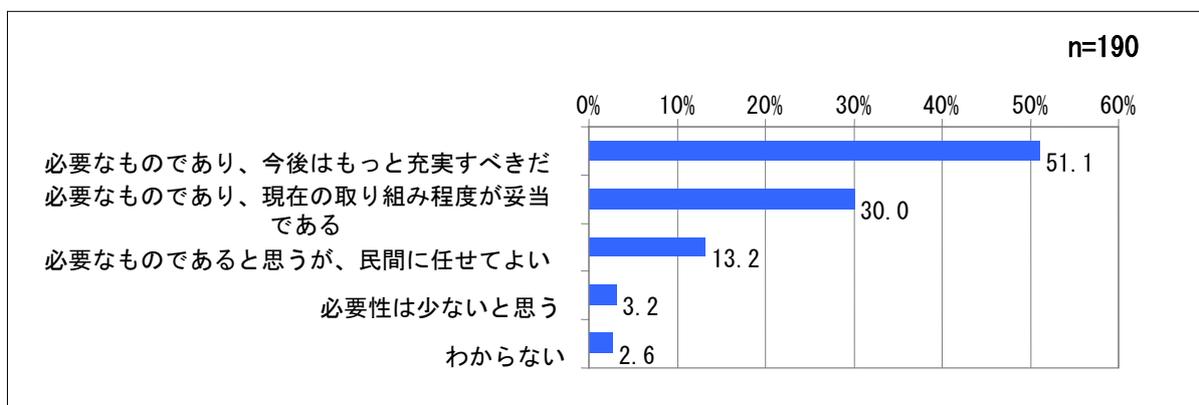
- (1) 文化・芸術とはどのようなものとお考えですか。(〇は3つまで)



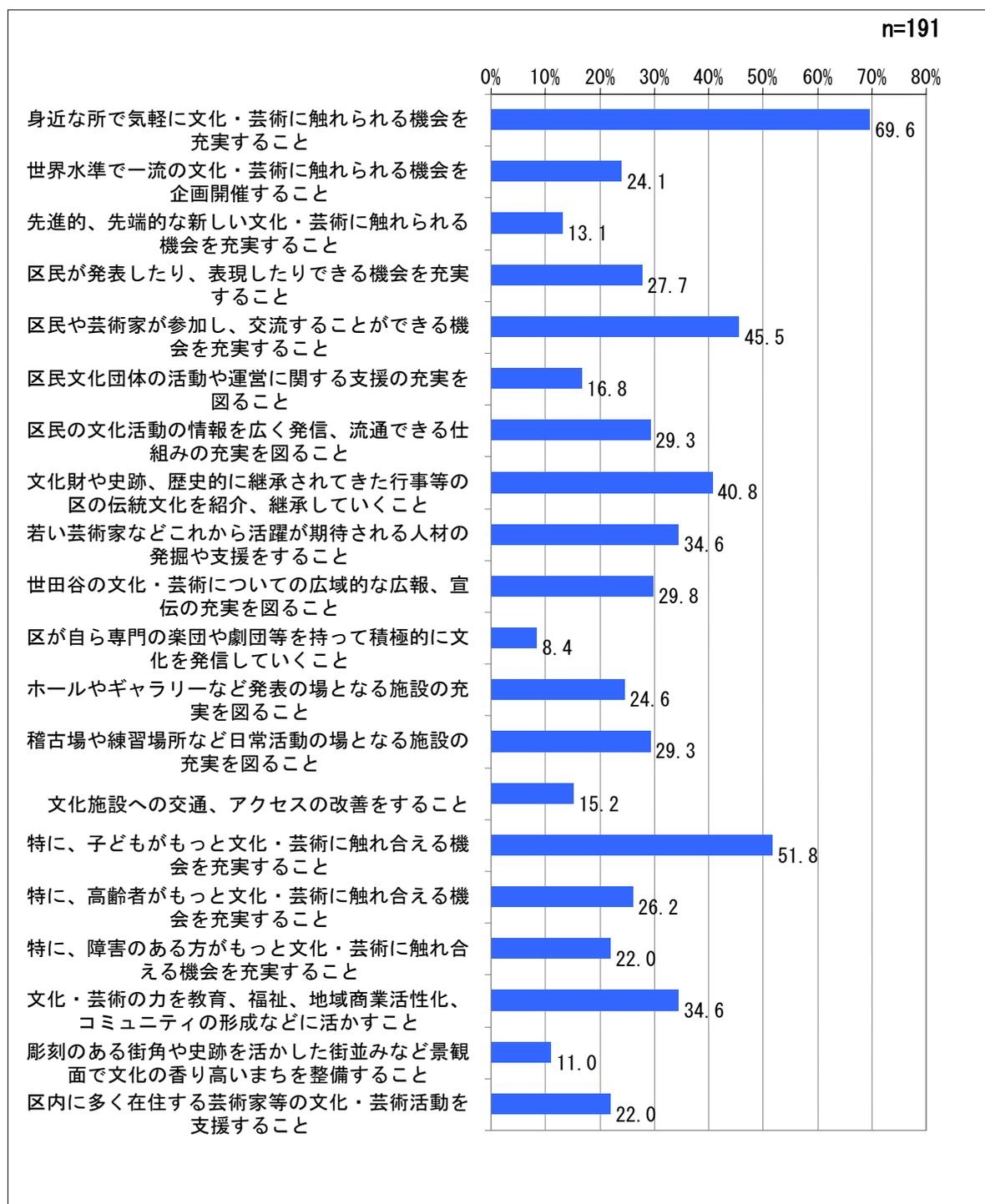
(2) 世田谷区が誇れるもの、際立っていると思うものを次の中から選ぶとすれば何だと思いますか。(〇は3つまで)



(3) 今後、世田谷区は文化・芸術に対してどの程度、力をいれるべきと思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを選んでください。(〇は1つまで)

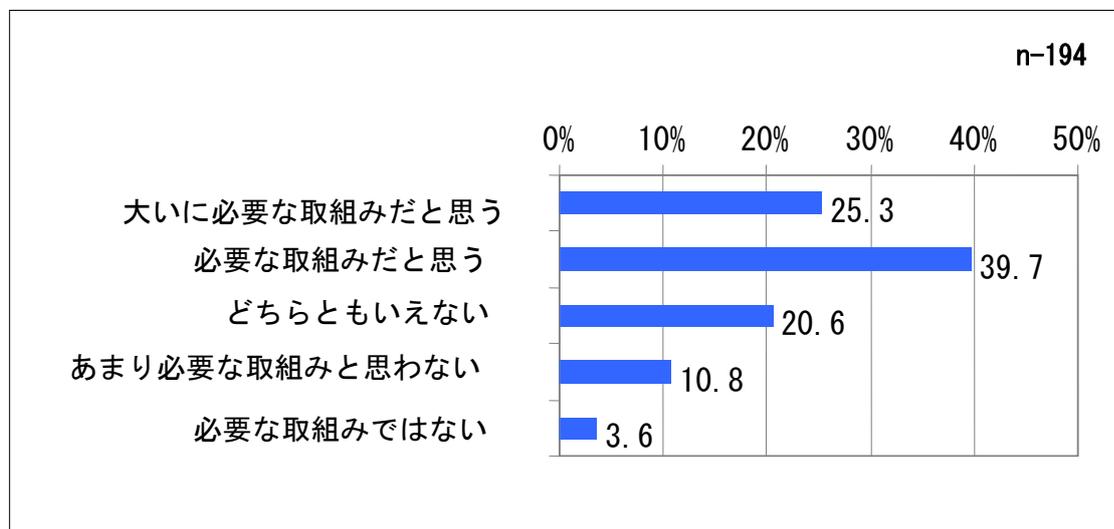


(4) 世田谷区の文化施策として、どのような分野を重視するのが良いとお考えですか。(〇はいくつでも)



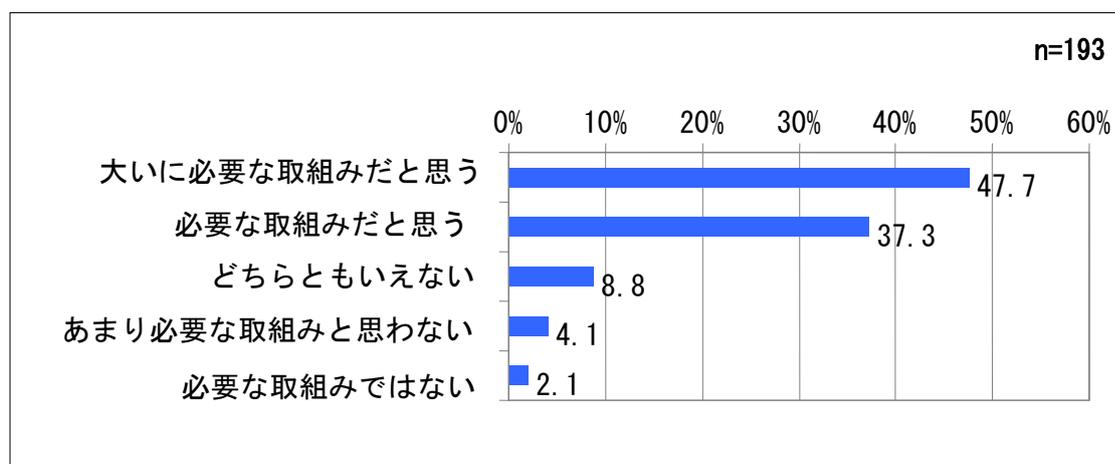
(5) 次のような取組みについてどのようにお考えですか。お考えに近いものに○をつけてください。

・芸術家を志す優れた才能を持つ若い人材が今後飛躍していくための創作活動の支援や発表の機会を与え、世田谷からその一歩を踏み出していくような支援を行なう取組み。(○は1つまで)



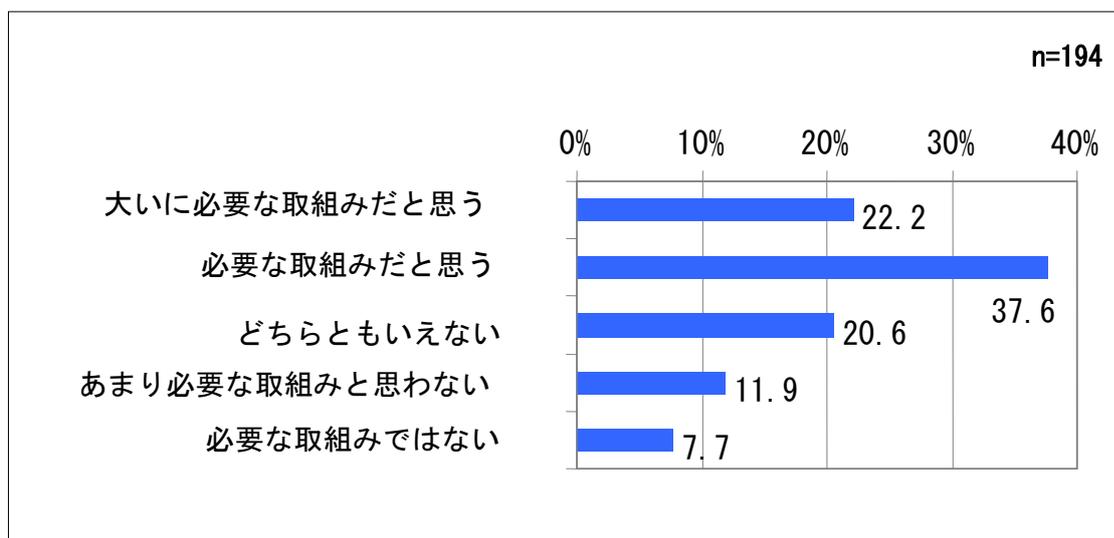
(6) 次のような取組みについてどのようにお考えですか。お考えに近いものに○をつけてください。

・世田谷に暮らす全ての子どもが、表現すること、創作することなど、文化・芸術を通じて学び、体験することができる創造的な教育機会を設けていく取組み。(○は1つまで)

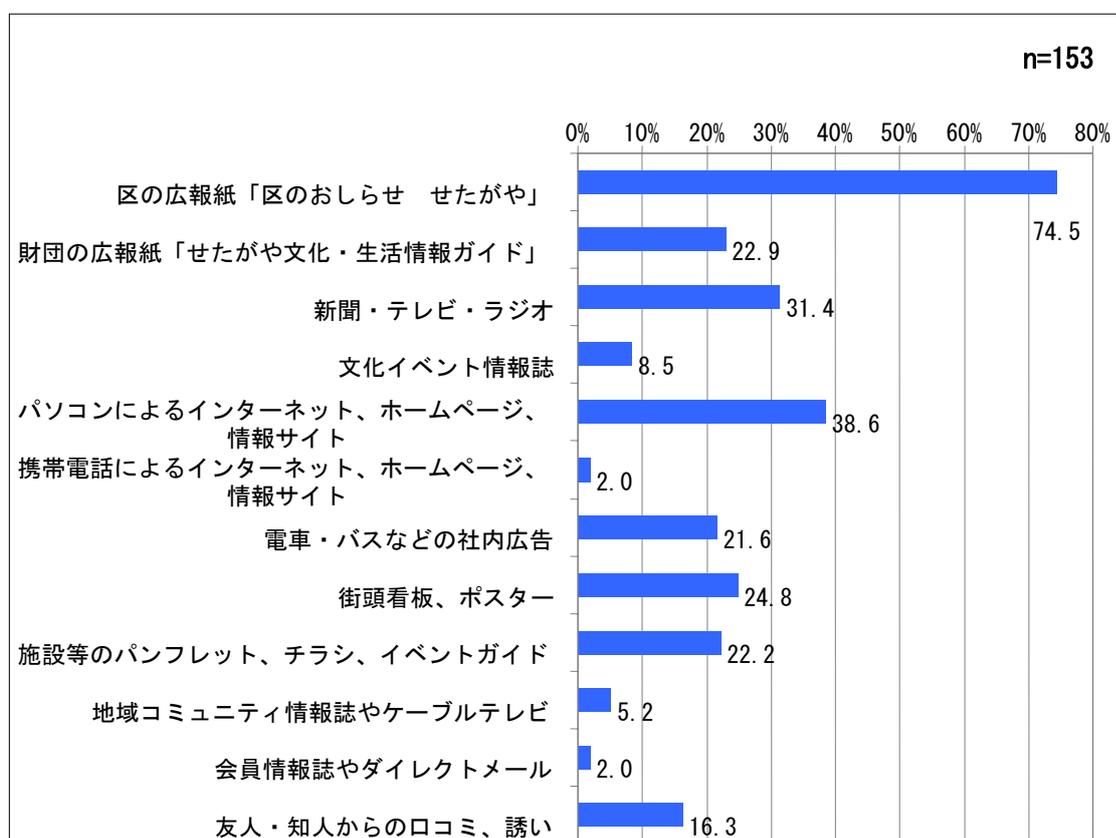


(7) 次のような取組みについてどのようにお考えですか。お考えに近いものに○をつけてください。

- ・日本のみならず世界から評価される水準や先進性をもった文化・芸術を、世田谷において、企画、製作、公開し、文化・芸術の創造発信拠点として広く注目を集め、人が訪れるようにする取組み。(○は1つまで)



(8) 文化・芸術に関する情報をどのような手段で手に入れていますか。以下のなかから現在利用しているもののなかで、主なものを3つ選んでください。(○は3つまで)



(9) 世田谷区の文化・芸術に対する取組みについて、ご意見・ご要望があれば、どのようなことでもかまいませんので、ご自由にお書きください。

1. まちの魅力、まちの環境づくり	8件	
2. 若い世代を育てる	11件	
3. 公演や展覧会、イベントの企画・内容	59件	
4. 歴史、伝統文化、文化財	10件	
5. 文化・芸術活動への支援	3件	
6. 区からの広報・PR	18件	
7. 施設関係	7件	
8. その他	26件	計 142件

上記の自由意見の内容 (主なもの)

#### 1. まちの魅力、まちの環境づくり

- もっと世田谷区が文化を発信する区であることを印象つけるような工夫が必要と思う。世田谷は住環境としては、特に良いと思うので、文化・芸術を発信することが世田谷のアイデンティティーではないかと思う。
- 街中で気取らずに文化・芸術に触れられる機会が増えるようになれば、素晴らしいと思う。奇抜なものや派手なものではなく、「まち」に自然と溶け込むようなアートが日常の生活の一部として存在することは、みんなの心を元気にする、役にたつのではないか。

#### 2. 若い世代を育てる

- 地元のアーティストの発表の場を設けてあげることが一番大事だと思う。若いアーティストたちが多く集まるようになれば、世田谷発信の芸術が根付くと思う。そして、その活動状況を区民に幅広く知らせ、区民全員で応援していけると長期的に成功すると思う。
- 有名な芸術家を招くより、子どもたちに芸術の楽しさを体験させる活動に注力すべきと考える。

#### 3. 公演や展覧会、イベントの企画・内容

- 一流のものを身近に感じるのが大事だと思うので、これからもジャンルを問わず、良いものを企画してほしい。
- 一流と言われるような芸術を取り上げる必要性はないと思う。これからの芸術を育てるようなアクティビティーや、年齢に関係なく参加できるような参加型、地域浸透型のものを作っていくべきであり、地域住民が興味を持てる、自慢が出来るようなものを作り上げるべきと考える。
- コンサートは、社会人でも聴きに行ける時間帯で実施してほしい。
- おひとり様でも、気軽に行きやすいといいなと思う。
- 小さな子ども連れや、障害者の方などは、音楽会など中々行くことができないので、そういう方の行けるコンサートなどを開催してほしい。
- 定年を迎えた両親が、文化・芸術を楽しんでいるようなので、そのような年代の方が喜ぶ試みがあったら、私も嬉しい。
- 安価で、芸術にふれあう機会が増えれば、もっと身近に感じられて、接しやすくなっていくと思う。

#### 4. 歴史、伝統文化、文化財

- 新しい芸術もよいが、やはり、昔ながらの文化・芸術を大切にしていることが基本になると思う。
- 博物館など、また、史跡散歩などの企画に、区民が参加できるような取組みも入れてはどうか。その地区に住む区民だからこそ知っている史跡や史実もあると思うので、そういった“区民ならではの”歴史・文化を残す取組みも求められていると思う。

## 5. 文化・芸術活動への支援

- 世田谷区在住のアーティストなどを、もっと世に紹介するためのバックアップをすることがよいと思う。

## 6. 区からの広報・PR

- 参加しようと思っても、終わった後で知ることが多いので、情報自体をまとめて教えてほしい。
- 広報宣伝が一般的に目に止まらない。届かなければ、一部の方へのサービスに留まってしまう。
- 広報紙や街頭看板での告知以外に、もっと情報を知る場所を作った方がよいと感じる。区民の中には、情報を知っていたら参加していた人達がたくさんいるはずである。
- PRの仕方を、一般企業HP並みに分かりやすい、見やすい内容にしてほしい。また、経費がかかることで難しいと思うが、文化事業の内容がまとまっている冊子を希望者に配布していただければ有難い。
- 世田谷には劇団なども多くあり、役者さんや芸術家も多く在住、または活動している。区が直接関与している催しもの以外でも、このような活動や催しを紹介したり、案内する季刊広報誌みたいなものを作ってもいいのではないか。また、これらは情報誌として、安価で販売品にしてもいいと思う。発展途上の劇団などを広報で支援することは、補助金などを投入するよりも有効だと思う。
- 世田谷区内にある大学で企画されているイベントや展覧会にも興味深い内容のものがあるが、偶然、見つけることがないと、その情報が伝わってこない。区が主催するものだけでなく、区内で行われる様々な企画についても、区の広報等の情報誌でまとめて知らせていただけると大いに参考になると思う。

## 7. 施設関係

- ホール建築が少ないと思う。多用途大ホールや音楽堂ならば世田谷には少ないので、建築してもよいのではないか。
- 高度のレベルでの文化・芸術については、大ホールは少ない感がある。

## 8. その他

- 世田谷区の行政力を使える高いレベルの文化・芸術に力を入れ、税金の無駄遣いと批判を招くような、区民や民間でも開催できるような文化・芸術展は、民間で行えばよいと思っている。
- 文化・芸術は自然発生的なものであり、それを後ろから支えることは必要だが、わざわざ税金を使って何をやればよいかを考えなければ出て来ないようなら、それはそれでそっとしておいてよいのではないか。
- 区の催し物は、区民の税金で運営しており、区民を第一優先にすべきだが、この原則が守られていない。
- 文化・芸術も大事なことだが、予算は限られるので、より安全・安心な日常が送れるように予算配分をよろしく願いたい。

### <数値の見方>

- ・数値についてはすべて百分比（％）で表示する。
- ・百分比は回答者数（該当設問においては該当者数）を100％として算出し、本文および図表の数字はすべて小数点第2位を四捨五入してある。したがって比率の合計が必ずしも100％にならない場合がある。同様にいくつかの選択肢の小計が、本文中の数字と合致しない場合がある。
- ・複数回答の設問は、すべての比率が100％を超えることがある。特に断りがない場合、すべての設問のn値は194である。  
※n値（データの合計値 ここではアンケート回答者数）

## 東京都23区の外国人登録人口（平成24年1月1日現在）

		各区人口 (国勢調査)	外国人 登録者数	比率
1	新宿区	324,902	33,568	10.3%
2	港区	207,120	20,620	10.0%
3	荒川区	204,459	15,667	7.7%
4	台東区	177,807	12,662	7.1%
5	豊島区	286,571	19,324	6.7%
6	千代田区	47,730	2,637	5.5%
7	渋谷区	206,842	9,834	4.8%
8	北区	333,396	15,451	4.6%
9	江東区	465,943	21,157	4.5%
10	中央区	126,719	4,977	3.9%
11	墨田区	247,730	9,558	3.9%
12	中野区	312,821	11,418	3.7%
13	江戸川区	676,894	24,380	3.6%
14	文京区	208,772	7,352	3.5%
15	足立区	684,739	23,059	3.4%
16	板橋区	535,078	17,337	3.2%
17	葛飾区	441,553	14,163	3.2%
18	品川区	367,570	11,274	3.1%
19	目黒区	268,702	7,369	2.7%
20	大田区	694,090	18,165	2.6%
21	杉並区	548,861	10,773	2.0%
22	練馬区	716,046	13,017	1.8%
23	世田谷区	881,244	15,686	1.8%
	合計		339,448	

		外国人 登録者数	比率
1	新宿区	33,568	9.9%
2	江戸川区	24,380	7.2%
3	足立区	23,059	6.8%
4	江東区	21,157	6.2%
5	港区	20,620	6.1%
6	豊島区	19,324	5.7%
7	大田区	18,165	5.4%
8	板橋区	17,337	5.1%
9	世田谷区	15,686	4.6%
10	荒川区	15,667	4.6%
11	北区	15,451	4.6%
12	葛飾区	14,163	4.2%
13	練馬区	13,017	3.8%
14	台東区	12,662	3.7%
15	中野区	11,418	3.4%
16	品川区	11,274	3.3%
17	杉並区	10,773	3.2%
18	渋谷区	9,834	2.9%
19	墨田区	9,558	2.8%
20	目黒区	7,369	2.2%
	文京区	7,352	2.2%
21	中央区	4,977	1.5%
22	千代田区	2,637	0.8%
	合計	339,448	

外国人登録国籍別人員（世田谷区）

≪平成 23 年12月末日現在≫

国籍別	人員	国籍別	人員	国籍別	人員	国籍別	人員
総数	15,686	エクアドル	-	マケドニア	-	スロベニア	-
アフガニスタン	3	エジプト	15	マダガスカル	-	ソロモン諸島	2
アルバニア	1	エルサルバドル	2	マラウイ	-	ソマリア	-
アルジェリア	3	赤道ギニア	-	マレーシア	101	南アフリカ	18
アンドラ	-	エリトリア	-	モルディブ	-	スペイン	57
アンゴラ	-	エストニア	1	マリ	5	スリランカ	60
アンティグア・バーブーダ	-	エチオピア	2	マルタ	4	セント・クリストファー・ネイヴィース	-
アルゼンチン	22	フィジー	4	マーシャル諸島	-	セント・ヴィンセント	-
アルメニア	-	フィンランド	24	モーリタニア	-	スーダン	3
オーストラリア	250	<b>フランス ⑧</b>	<b>377</b>	モーリシャス	-	スリナム	-
オーストリア	40	ガボン	1	メキシコ	36	スワジランド	-
アゼルバイジャン	2	ガンビア	-	ミクロネシア	-	スウェーデン	63
バハマ	1	グルジア	1	モルドバ	2	スイス	47
バーレーン	-	<b>ドイツ ⑦</b>	<b>401</b>	モナコ	-	シリア	6
バングラデシュ	91	ガーナ	18	モンゴル	55	タジキスタン	1
バルバドス	-	ギリシャ	11	モロッコ	19	タンザニア	12
ベラルーシ	3	グレナダ	-	モザンビーク	-	タイ	216
ベルギー	19	グアテマラ	-	ナミビア	-	東ティモール	-
ベリーズ	-	ギニア	5	ナウル	-	トーゴ	-
ベナン	3	ギニアビサウ	-	<b>ネパール ⑩</b>	<b>290</b>	トンガ	5
ブータン	-	ガイアナ	-	オランダ	31	トリニダード・トバゴ	-
ボリビア	4	ハイチ	-	ニュージーランド	102	チュニジア	4
ボスニア・ヘルツェゴビナ	2	ホンジュラス	1	ニカラグア	-	トルコ	50
ボツワナ	4	ハンガリー	17	ニジェール	-	トルクメニスタン	3
ブラジル	116	アイスランド	9	ナイジェリア	23	ツバル	-
ブルネイ	-	<b>インド ⑥</b>	<b>426</b>	ノルウェー	8	ウガンダ	3
ブルガリア	21	インドネシア	131	オマーン	-	ミャンマー	87
ブルキナファソ	-	イラン	81	パキスタン	50	アラブ首長国連邦	2
ブルンジ	-	イラク	-	パラオ	-	<b>英国 ⑤</b>	<b>622</b>
カンボジア	7	アイルランド	52	パナマ	-	<b>米国 ③</b>	<b>1,407</b>
カメルーン	9	イスラエル	24	バプア・ニューギニア	1	ウクライナ	39
<b>カナダ ⑨</b>	<b>307</b>	イタリア	121	パラグアイ	8	ウルグアイ	4
カーボベルデ	-	コートジボアール	5	ペルー	46	ウズベキスタン	12
中央アフリカ	-	ジャマイカ	2	<b>フィリピン ④</b>	<b>796</b>	バヌアツ	-
チャド	-	ヨルダン	5	ポーランド	23	ヴァチカン	-
チリ	10	カザフスタン	1	ポルトガル	11	ベネズエラ	11
<b>中国 ②</b>	<b>3,998</b>	ケニア	16	カタール	-	ベトナム	147
コロンビア	40	キリバス	1	ルーマニア	30	イエメン	-
コモロ	-	<b>韓国又は朝鮮 ①</b>	<b>4,186</b>	ロシア	109	セルビア	3
コンゴ共和国	-	クウェート	-	ルワンダ	-	ザンビア	2
コンゴ民主共和国	9	キルギス	3	サモア	-	ジンバブエ	3
コスタリカ	2	ラオス	8	サンマリノ	-	モンテネグロ	-
クロアチア	3	ラトビア	2	サントメ・プリンシペ	-	パレスチナ	-
キューバ	7	レバノン	7	セントルシア	-	コソボ	-
キプロス	1	レソト	-	サウジアラビア	5	セルビア・モンテネグロ	4
チェコ	6	リベリア	-	セネガル	5	無国籍・その他	5
デンマーク	15	リビア	-	セイシエル	1	<b>総計</b>	<b>15,686</b>
ジブチ	-	リヒテンシュタイン	-	シエラレオネ	-	<b>男</b>	<b>8,000</b>
ドミニカ国	-	リトアニア	5	シンガポール	56	<b>女</b>	<b>7,686</b>
ドミニカ共和国	2	ルクセンブルク	2	スロバキア	3	<b>世田谷区人口(24.1.1)</b>	<b>840,522</b>
						<b>世田谷区の人口に占める外国人割合</b>	<b>1.87%</b>
							<b>16,298</b>
							<b>8326</b>
							<b>7,972</b>
							<b>852,117</b>
							<b>1.91%</b>

前年